

# 「なぜ、地域振興に観光が必要なのか」

11/28 Thursday 木曜日  
【基礎コース】1日目 13:00 ~ 18:00

会場 和歌山県立情報交流センタービッグ・ユア 研修室1

13:00~13:10 開塾式  
開塾挨拶、趣旨説明  
此松講師 (和歌山大学教育学部教授/災害科学教育研究所 所長)

13:10~14:10 塾長講演  
「選ばれ続ける地域とは？」  
~なぜ地域振興に観光が必要なのか?~ 山田 桂一郎 塾長  
SDGsの重要性やSociety50社会の到来が喧伝される中、観光を基軸とした持続可能な地域振興が果たす役割がますます注目されています。さまざまな活動主体から選ばれ続けるための地域経営のあり方を、その本質からわかりやすく解説し、明らかにしていきます。

14:15~14:55 講師講演  
「観光地域づくりと広域連携で得るものとは？」  
~インバウンド・着地型観光・日本版DMOの現状と課題~ 観光庁の政策 榎垣 敏 講師  
観光庁観光地域振興推進課広域連携推進室長 (兼) 観光地域づくり法人支援室長  
自由に観光ができる今日、人々は異日常を求めて世界各地を訪れます。観光客から選ばれる地域になるためには、当地に暮らす人々が自らの暮らしに気付き、それらを商品化するための連携の仕組みが必要で、観光庁による支援策の実例を示すとともに、その現状と課題についてお話しします。

15:00~15:40 講師講演  
「空港を起点とした南紀熊野の地域活性化とは？」  
~民営化空港会社による空港型地方創生の挑戦~ 南紀熊野の事例 森重 良太 講師  
株式会社南紀白浜エアポート 誘客・地域活性化室長  
南紀熊野の空の玄関口である南紀白浜空港が民営化されて何がかわるのか?地域は空港をどのように活かすべきなのか?選ばれ続ける地域づくりを目指して、空港運営会社が描く地域経済活性化に向けた具体的な戦略とこれまでの取り組み事例についてご紹介いたします。

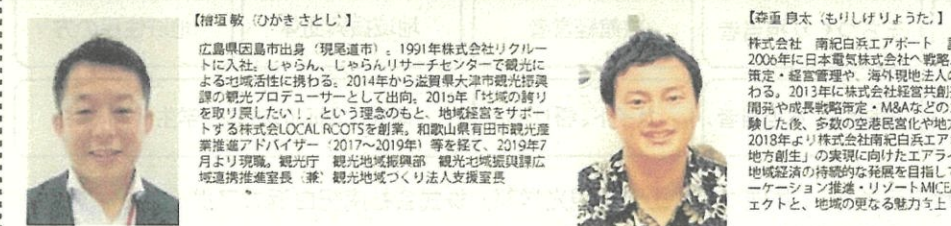
15:45~16:45 講師講演  
「マーケットを捉える仕組みから見える今後の展望」  
~顧客データベースを地域でシェアする仕組みと自主財源、自主自立への道~ 気仙沼の事例 森 成人 講師  
じゃらんリサーチセンター (JRC) 研究員/気仙沼市復興アドバイザー  
プロダクトアウト志向の脱却から脱却し、マーケットイン志向での商品づくりを行うことが求められています。顧客データベースを構築し、それらを活用した商品づくりと地域内経済循環の向上に挑戦する宮城県気仙沼市の取り組みをご紹介します。

16:50~17:10 論点の整理  
論点の整理  
コーディネーター: 竹林講師 (和歌山大学観光学部観光学科 准教授)  
講師: 山田塾長、榎垣講師、森講師、森重講師、出口講師、此松講師  
講師陣がトークセッション形式でこれまでの論点を整理して、2日目に向けた課題を提示します。

17:15~18:00 塾長講演  
「脱B級志向で地域振興！」  
~補助金漬け・薄利多売・劣化版コピー事業からの決別が地域を強くする~ 山田 桂一郎 塾長  
本来、価値のあるものを安売りしてはいけません。安易なB級志向は地域を弱体化させます。補助金頼みや先進事例の模倣も決別し、地域の価値を引き上げる努力を研鑽することこそが地域振興を導く最も重要な方策であることを解説します。

19:00~21:00 交流会  
夜なべ談義 ■場所: 勘八屋 和歌山県田辺市新庄町2926-15

ゲスト講師: 榎垣 敏氏 観光庁観光地域振興推進課広域連携推進室長 (兼) 観光地域づくり法人支援室長  
ゲスト講師: 森重 良太氏 株式会社南紀白浜エアポート 誘客・地域活性化室長  
ゲスト講師: 森 成人氏 じゃらんリサーチセンター (JRC) 研究員/気仙沼市復興アドバイザー



11/29 Friday 金曜日  
【基礎コース】2日目 10:00 ~ 16:30

会場 和歌山県立情報交流センタービッグ・ユア 研修室4

10:00~11:00 塾長講演  
「マーケティングと地域内経済循環」  
山田 桂一郎 塾長  
マーケティングと地域内経済循環について解説するとともに、近々の観光関連産業の現状と今後取り組むべき課題・課題を整理します。

11:10~12:00 講師講演  
「現状認識とマーケティングの重要性を知る」  
講義: 山田塾長、榎垣講師、森講師、森重講師  
現状認識は充分でしょうか。カンと経験に頼るだけでは現状を正しく認識するのは困難です。顧客のニーズの変化を的確につかむこと、そのためにはマーケティングを正しく理解することが重要であることをトークセッション形式でざっくりお話しします。

13:00~13:20 講師講演  
「地域経済循環分析で見る地域の姿」  
講義: 山田講師、榎垣講師、出口講師  
環境省による地域経済循環分析を紹介し、その活用方法を解説します。

13:25~14:05 ワーク  
個人ワーク  
環境省による地域経済循環分析を活用して地域の現状を整理します。各自配布されたワークシートを活用し、これまでのカリキュラムで得た知識を整理するとともに、自身の考えをまとめてもらいます。

14:15~15:05 ローカルカフェ  
参加者と講師の意見交換タイム  
講師: 山田塾長、榎垣講師、森講師、森重講師、出口講師  
カフェを楽しみながら、受講者全員と講師による意見交換を行います。

15:15~16:15 塾長講演  
「あなたにできることは何ですか？」  
~次なる一歩に向けて~ 山田 桂一郎 塾長  
2日間のカリキュラムを振り返り、ポイントの再整理を行います。どのような地域もさまざまな課題が存在することで成り立っています。一事業の繁栄だけでは、地域を支えることはできません。また、楽しく暮らせない地域からは人口がどんどん流出してしまいます。つまり、どんなに観光地化をめざしても、そこが幸せを感じられる地域 (感幸地) でなければ持続可能な取り組みには結果しません。感幸地を観光地にする仕組みを4方良しの持続可能な地域経営を目指しているスイスモデルに考えてみます。

16:20~16:30 閉塾式  
閉塾式、基礎コース修了証書授与、記念撮影

ゲスト講師: 榎垣 敏氏 観光庁観光地域振興推進課広域連携推進室長 (兼) 観光地域づくり法人支援室長  
ゲスト講師: 森重 良太氏 株式会社南紀白浜エアポート 誘客・地域活性化室長  
ゲスト講師: 森 成人氏 じゃらんリサーチセンター (JRC) 研究員/気仙沼市復興アドバイザー



今年で7期目を迎える南紀熊野観光塾は、「選ばれ続ける地域」をモットーに、魅力的で持続可能な地域づくりの仕組みを担う中核的な人材を育成することを目的とした塾です。「選ばれ続ける地域」では、住民が誇りを持って幸福に、そして楽しく暮らしています。つまり、幸せを感じることができる「感幸地」が「観光地」をつくるということになります。では、どのような地域をめざせば住民も訪れる人々も幸せを感じることができるようになるのでしょうか。南紀熊野観光塾では、それを本質から考え抜くとともに、さまざまな分野から参加された塾生の方々との間でじっくりと意見交換をしてきたいと考えています。あらためて地域づくりや観光について学び直すだけでなく、生涯にわたって一緒に活動が続けられることのできる同志を見つける場としても大いに活用してください。



南紀熊野観光塾 塾長: 山田 桂一郎 (やまだけいいちろう)

## 「南紀熊野観光塾」塾長紹介

山田 桂一郎 和歌山大学 観光学部観光学科 准教授  
和歌山大学 観光学部観光学科 准教授  
2005年に観光カリスマ (内閣府・国土交通省 (観光庁)・農林水産省 認定) : 「世界のトップレベルの観光ノウハウを各地に広めるカリスマ」として、これまでのヨーロッパを中心とした環境保全 (環境保全活動プログラム、環境教育、環境アセスメント等) 海外在住者として初めて日本の環境省に登録された環境カウンセラーと世界各地における滞在プログラム・ツアーの実施と観光・異文化交流の普及、マーケティングの経験を活かし、観光・地域振興 (まちおこし・自立型地域経営、サービス向上、人材育成や中心市街地・商店街活性化等) に関する講演やセミナーの講師として全国各地から招聘されている。また、日本国内でも地域振興・再生のコンサルタントとして様々な事業化 (特に地域経済マネジメントの組織化) を進め、多方面で積極的に事業活動を展開し、多くの実質的な成果と結果を挙げ、民間企業やNPO法人の他にも多くの自治体や地方自治体の委員、プロデューサー、コーディネーター、アドバイザーを務め、大学や高等教育機関でも教鞭をとっている。近年は観光庁「訪日観光セミナー」講師、ミシュラン・グリーンガイドの取材コーディネーターも行う。2011年には週刊日経ビジネス誌において「次代を創る100人」の一人として選出された。欧州では、ヨーロッパ・アルプス並びにスイス全土に渡る取材・撮影のコーディネーター、ライター (日本旅行家協会会員)、ビデオカメラマン、通訳としても活動。冬は、現地で唯一の日本人スキー教師、夏は、ハイキング、トレッキングガイドでもある。スポーツに関しては、山以外でもセーリング (ヨット) 競技の元国体選手であり、パラグライダーでも中級、陸上での全てをフィールドとしている。

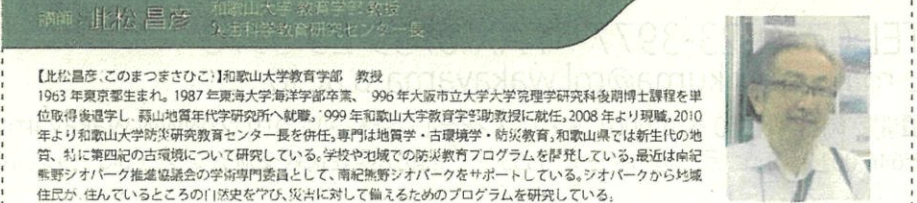
95年 三重県津市生まれ  
98年 スイス・ツェルマツ観光局 日本人対応インフォメーション、セールスプロモーション担当  
99年 JTC SWISS (スイス 日本語インフォメーションセンター) 設立  
99年 環境省環境カウンセラー (事業者部門) として登録、ヴァレー州観光局日本・アジア向けプロモーション担当  
99年 Mt.6 (ベスト オブ サ クラシック マウンテンリゾート) 環境政策とCS (顧客満足度推進) 顧問担任  
2003年 環境省環境カウンセラー (市民部門)  
2004年 特定非営利活動法人 日本エコツアー協会理事、まちづくり観光研究所 准主任研究員  
2005年 内閣府、国土交通省、農林水産省認定「観光カリスマ百選」認定  
2006年 日本エコツアー協会環境推進委員  
2010年 総務省「地域力創造アドバイザー」  
2011年 和歌山大学産学連携研究支援センター客員教授、北海道大学観光学高等教育センター客員准教授  
2014年 につばな観光協会 代表  
2015年 内閣府「地域活性化伝道員」、和歌山大学教育アドバイザー  
2016年 内閣府「クールジャパン地域プロデューサー」、北海道大学観光学高等教育センター客員教授、奈良県立大学客員教授  
2016年 ジャパンエコトラック推進協議会理事  
2017年 和歌山大学南紀熊野サテライト客員教授

## 「南紀熊野観光塾」講師紹介

講師: 出口 龍也 和歌山大学観光学部観光学科 教授  
【出口 龍也 (りゅうた)】和歌山大学 観光学部観光学科 教授  
1964年石川県金沢市生まれ。1997年富山大学経済学専攻卒業。1999年神戸大学大学院 (現在兵庫県立大学) 大学院経済学研究科博士後期課程を中退し、和歌山大学総合科学部専任講師に就任。同2007年和歌山大学大学院経済学研究科教授に就任。2008年より現職。専門は経営戦略論、経営戦略論、観光経営論、観光経営論、近年は、人間的アプローチによる経営学研究や産業集積研究に高い関心を持っている。また、訪日産業集積研究センター (SIARC) 理事、いき交流文化デザイン研究所理事、日本うとん学会評議員など、幅広い分野で要職を務め、学際的な活動を進めている。  
『著書』『日本の経営の本流—松下幸之助の発想と戦略—』共著、PHP研究所 1997年、『ケースブック現場主義の海外経営』共著、白桃書房 1997年、『「社員の経営人観」』共著、東方出版 1999年、『「経営」への執着』共著、八千代出版 2001年、『企業増強の経営人観』共著、東方出版 2002年、『ケースブック・ビジネスモデルシミュレーション』共著、文庫堂 2007年、『経営戦略の基礎』共著、東山経済情報出版 2007年、『「会社文化のグローバル化」』共著、東方出版 2007年、『「新グローバル経営」』共著、白桃書房 2007年、『「経営理念—継承と伝播の経営人観」』共著、PHP研究所 2008年、など。

講師: 竹林 浩志 和歌山大学観光学部観光学科 准教授  
【竹林 浩志 (たけのし)】和歌山大学 観光学部観光学科 准教授  
1970年大阪府生まれ。1995年関西大学文学部卒業。2000年関西大学大学院経済学研究科博士課程前期課程を単位取得後進学し、大阪府立大学 (現大阪大学) 観光学部専任講師に就任。同2007年和歌山大学大学院経済学研究科教授に就任。2008年より現職。専門は観光戦略論、経営戦略論、観光経営論、近年は、観光地振興における戦略主体の形成や組織的発展力を中心とした経営学的研究に高い関心を持っている。また、観光庁「観光地域づくり人材育成ガイドライン検討会」委員も務めた。  
『著書』『現代のチーム—理論と役割—』共著、同文館、2003年、『ドライブ「観光経営戦略—戦略決定から実行まで—』共著、センテジャーニング、2007年、『「ホーソン実験の研究—人間尊厳的経営の源流を探る—』共著、同文館、2008年、『「観光入門—観光の仕事・学習・研究をつなぐ—』共著、新報社、2011年、など。

講師: 此松 昌彦 和歌山大学 教育学部 教授  
和歌山大学 教育学部 教授  
【此松 昌彦 (このまさひこ)】和歌山大学 教育学部 教授  
1963年東京都生まれ。1987年東海大学海洋学部卒業。1996年大阪府立大学大学院経済学研究科後期博士課程を単位取得後進学し、和歌山大学教育学部専任講師に就任。2008年より現職。2010年より和歌山大学大学院経済学研究科第一部長を併任。専門は教育学・古環境学・防災教育、和歌山県では新卒生の他、特に第四紀の古環境について研究している。学校や地域での防災教育プログラムを設計している。最近では南紀熊野シオーク推進協議会の学術専門委員として、南紀熊野シオークをサポートしている。シオークから地域住民が住んでいるところの「歴史を学び、災害に対して備えるためのプログラム」を研究している。



【此松 昌彦 (このまさひこ)】和歌山大学 教育学部 教授  
和歌山大学 教育学部 教授



気仙沼クルーカードのご紹介はこちら

NANKI-KUMANO-KANKOJUKU  
**南紀熊野観光塾 vol.7**  
 ～いま、求められる観光中核人材を考える。次世代の地域経営～



南紀熊野観光塾 塾長：山田 桂一郎

# なぜ、地域振興に観光が必要なのか

～観光振興の本質と広域連携を学ぶ～

## 第7期生募集【基礎コース】20名

令和元年  
**11/28**  
 Thursday  
 木曜日

令和元年  
**11/29**  
 Friday  
 金曜日

会場

和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー  
 研修室1、4  
 〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9

開催日	基礎コース 令和元年 11月28日(木) 13:00～18:00 11月29日(金) 10:00～16:30
申込締切日	令和元年11月22日(金) 17:00
参加条件	全ての回に参加する意欲の有る方 高校生以上の方(学歴等不問)

「南紀熊野観光塾」とは、「選ばれ続ける地域」をモットーに、南紀熊野のあるべき姿をみながら考える塾です。魅力的で持続可能な地域づくりの仕組みを担う中核的な人材を育成することを目的とした塾です。人々が地域の魅力に気づき、誇りを持って幸福に暮らすことができれば、おのずとそこには観光客がやって来ます。ここでは、どのような地域になれば人々は幸福になれるのでしょうか。この塾では、それを根本から考え抜くとともに、さまざまな分野から参加された塾生の方々の間でじっくりと議論していきたくと考えています。あらためて地域づくりや観光について学び直すだけでなく、同志を見つかる場として大いに活用してください！

※次の方々にお勧めの塾です。

観光業従事者	観光振興の担い手	地方公共団体	ジオパーク担当者
若手起業家	観光案内者	まちづくり担当者	旅館経営者
地域住民の方	地域振興団体	観光に関心のある大学生・高校生	
商工関係者	インストラクター	地域づくり担当者	ガイド、語り部

主催：和歌山大学南紀熊野サテライト 共催：和歌山大学観光学部、株式会社南紀白浜エアポート  
 後援：和歌山県 一般社団法人田辺市熊野ツーリズムビューロー



会場アクセス (和歌山大学南紀熊野サテライト所在地)

- 〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3353-9  
和歌山県立情報交流センタービッグ・ユー内
- JR利用：JR紀勢本線 BigU 最寄駅、JR白浜駅。  
大阪方面から新大阪より約2時間30分
- 自動車利用：阪和自動車道  
田辺ICより、国道42号線方面  
または上富田ICより国道42号線方面
- 専用駐車場有



応募要項 ※募集人数と費用について

塾生募集は20名様迄

(応募者が多数の場合は抽選となります。ご了承ください。)

- ①募集対象：全ての回に参加が可能な方、高校生以上の方。
- ②会場までの交通費、宿泊費、体験費、食費等の費用は自己負担です。
- ③会場費用、テキスト代費用など参加費用として実費10,000円を初回徴収いたします。  
別途2月に塾生コースを開催する予定です。  
興味のある方は事務局までお問い合わせください。

※記載の内容は変更することもあります。予めご了承ください。

令和元年度 南紀熊野観光塾【基礎コース】参加申込用紙

基礎コース専用申込用紙【11/22(金)17:00締切】※必要事項をご記入の上、FAXまたは記載内容をメールにてお申込みください。

フリガナ お名前：	年齢：
住所：	性別：男・女
電話番号：	
電子メール：	所属：

※この申込みの情報は開催の目的以外では使用しません。

地域と  
共に育つ

南紀熊野サテライトは、地域課題に対応した地域連携・貢献を推進するため、和歌山大学全体の知的資源を活かして南紀熊野における地域連携・貢献に関する教育と研究及び、地域づくりの人材と地域課題に対応した事業に参画するための拠点です。



お問い合わせ先

和歌山大学南紀熊野サテライト

TEL:0739-23-3977 FAX:0739-23-3978

E-mail: nankuma@ml.wakayama-u.ac.jp

■開室時間:10:00～17:00(日・月・祝祭日等休み) <http://www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/>

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町 3353-9 和歌山県立情報交流センター Big・U 内 102 号室